

令和 3 年度



# 関西国際大学

Kansai University of International Studies

## 教員免許状更新講習 募集要項

### 募集期間

令和 3 年 5 月 17 日 (月) 10 時～5 月 31 日 (月) 17 時

### 講習日 [全 6 日間]

8/2 (月)・3 (火)・4 (水)・5 (木)・6 (金)・7 (土)

### 申込書類提出先・問合せ先

(尼崎キャンパス)

関西国際大学 教員免許状更新講習係 (社会連携課)

〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江 1-3-23

TEL : 06-6496-4103

(受付時間 : 平日 9 : 30～17 : 00)

FAX : 06-6496-4321

E-mail : [menkyo@kuins.ac.jp](mailto:menkyo@kuins.ac.jp) (終日送信可)



### <自宅学習型「eラーニング」 教員免許状更新講習のご案内>

遠方の方や勤務・ご家庭の事情により通学が困難な方のために、9 月から自宅学習型「eラーニング」講習を実施！ 万が一、通学型講習が落選・不合格になった場合にも eラーニングにて受講し、教員免許状の更新が可能です。

詳しくは 8 月下旬に、ホームページに掲載します。

申込者・受講者の方には、登録アドレスにお知らせします。

### CONTENTS

|                            |       |
|----------------------------|-------|
| 大切な注意点とお知らせ                | 1     |
| 教員免許更新制の概要                 | 2     |
| 受講対象者                      | 3     |
| 申込～受講～認定～更新までの<br>流れ・日程と手順 | 4-7   |
| 申込～受講～認定～更新までの<br>詳細       | 8-11  |
| 受講に関する注意事項                 | 12-13 |
| 講習の中止等について<br>その他留意事項等     | 14-15 |
| 講習一覧                       | 16    |
| 講習概要                       | 17-23 |
| 大学周辺の飲食エリアご案内<br>(尼崎キャンパス) | 24    |
| 講習のタイムスケジュールと<br>会場周辺マップ   | 裏表紙   |

## 大切な注意とお知らせについて

### (1) 修了確認期限・有効期間満了日と受講対象者の確認について

免許状の「修了確認期限・有効期間満了日」をご確認の上、ご自身が受講対象者に該当するかどうか、各自の責任において文部科学省のホームページにてご確認いただくか、免許管理者（教育委員会）又は勤務先等にお問い合わせください。

平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されましたが、平成25年8月に教育職員免許法施行規則の一部を改正する省令等の公布及び、施行がなされました。

新旧の免許状があり、また有効期間の延長申請等の要因から、生年月日のみでは受講対象者であるかの判別が困難となっております。

申込書類には修了確認期限・有効期間満了日を記入する欄がありますので、事前にご確認をお願いします。

受講対象者に該当するか否かについて、本学ではご自身の申請を判断基準といたします。申込手続き完了後や、受講開始後および修了・履修証明書発行後に、受講対象外と判明した場合も、受講料の返金等の対応は一切できかねますので、ご注意ください。

### (2) 受講辞退(キャンセル)について

入金された受講料は原則として返金をいたしません。Web申込み後、本学の講習を受講する意思がある方のみ受講料をご入金ください。

ただし、対面式講習（来校しての受講）を申込まれた方で、次の①～④の場合には、受講申込者本人からの申し出により、納入受講料を全額返金します。

- ①悪天候や自然災害等やむを得ない事情により、本学が休講とした場合
- ②本学の都合により休講とした場合
- ③悪天候や自然災害等の影響により、明らかに公共交通機関の利用ができず、受講が困難であると本学が認めた場合
- ④その他、やむを得ない事情であると本学が認めた場合

なお、「④その他、やむを得ない事情であると本学が認めた場合」とは、次の(1)～(3)の場合とします（証明書を提出していただきます）。

- (1)受講者本人が入院している場合(病気や事故等)
- (2)受講者本人の3親等以内の親族の葬儀等に出席する場合
- (3)受講申込時には、予定されていなかった勤務校および勤務校に準じる学校行事に参加することになった場合、かつ所属長からの証明が得られる場合

③、④は、証明書の提出が必要です。あらかじめ連絡の上、本学の様式の「欠席届(証明者の記名・押印)」及び、「受講料等返金願」を作成し、本学に提出があったものについてのみ返金の対象といたします。親族の葬儀等の場合も出席したことが証明できる資料を提出してください。

受講料入金後の受講者の都合による辞退の申し出は、7/20(火)12:00を期限とし、教員免許状更新講習係のメールアドレス（[menkyo@kuins.ac.jp](mailto:menkyo@kuins.ac.jp)）までご連絡ください（座席指定の講習やグループワーク講習があるため、期限を設けていただきます）。

## 教員免許更新制の概要(文部科学省のホームページにより抜粋)

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により、平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制が導入されました(関西国際大学においても文部科学大臣の認定を受けて開設するものです)。

### 1. 目的

教員免許更新制は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すものです。

※不適格教員の排除を目的としたものではありません。

### 2. 基本的な制度設計について

原則的に、有効期間満了日(修了確認期限)の 2 年 2 ヶ月から 2 ヶ月前までの 2 年間に、大学などが開設する 30 時間以上の免許状更新講習を受講・修了した後、免許管理者(都道府県教育委員会)に申請する必要があります。

また、有効期間の延長(修了確認期限の延期)が可能な理由に該当する場合や講習の免除対象者に該当する場合には、そのために必要な申請などの手続きを行います。

### 3. 更新講習の受講対象者について

- (1) 現職教員
  - (2) 実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
  - (3) 教員採用内定者
  - (4) 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用(または非常勤)教員リストに登載されている者
  - (5) 過去に教員として勤務した経験のある者
  - (6) 認定こども園で勤務する保育士
  - (7) 認可保育所で勤務する保育士
  - (8) 幼稚園を設置している者が設置する認可外保育施設で勤務する保育士
- など

### 4. 免除対象者について

免許状更新講習を受講せずに免許管理者に申請を行うことによって免許状を更新できる者(免除対象者)は以下のとおりです。

- (1) 優秀教員表彰者
- (2) 教員を指導する立場にある者
  - ・ 校長(園長)、副校長(副園長)、教頭、主幹教諭または指導教諭
  - ・ 教育長 または指導主事
  - ・ 免許状更新講習の講師

など

※知識技能が不十分な者は不可。

### 5. 有効期間の延長(修了確認期限の延期)

指導改善研修中や、以下の事由により免許状更新講習を受講・修了することが困難である場合、免許管理者に申請を行うことによって、相当の期間を定めて免許状の有効期間を延長(修了確認期限を延期)することができます。

- (1) 休職中であること
  - (2) 産休、育休、病気休暇、介護休暇中であること
  - (3) 地震、積雪、洪水その他の自然現象により、交通が困難となっていること
  - (4) 海外派遣中であること
  - (5) 専修免許状取得のための課程に在籍していること
  - (6) 教員となった日から有効期間満了日(修了確認期限)までの期間が 2 年 2 ヶ月未満であること
- など

なお、有効期間の延長(修了確認期限の延期)ができる者は以下のとおりです。

#### ○ 有効期間の延長ができる者(新免許状所持者)

- (1) 教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び講師
  - (2) 校長(園長)、副校長(副園長)、教頭、実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
  - (3) 指導主事、社会教育主事
- など

#### ○ 修了確認期限の延期ができる者(旧免許状所持者)

- (1) 教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び講師
  - (2) 校長(園長)、副校長(副園長)、教頭
  - (3) 指導主事、社会教育主事
- など

## 受講対象者(文部科学省のホームページにより抜粋)

### (1) 免許状の有効期間(修了確認期限)

#### ◆新免許状(平成21年4月1日以降(更新制導入後)に授与される免許状)の場合

普通免許状または特別免許状の有効期間は、所要資格を得てから10年後の年度末までです。

※「所要資格を得て」とは、免許状の授与に必要な学位と単位を満たした状態のことをいいます。

例えば、平成25年3月31日に所要資格を得た後に授与される免許状は全て、令和5年(平成35年)3月31日まで有効となります。つまり、平成25年3月31日に所要資格を得た方が、平成30年になってから免許状授与の申請を行い、3月31日に免許状を授与された場合でも、令和5年(平成35年)の3月31日が有効期間の満了日になることになります。

よって、大学の教職課程で単位を取り終えた後、都道府県教育委員会に授与の申請をしないままであっても、授与される免許状の有効期間の満了日は同じということになります。

#### ◆旧免許状(平成21年3月31日以前(更新制導入前)に授与された免許状)の場合

##### 1. 栄養教諭免許状以外の旧免許状を持っている場合

修了確認期限が令和4年3月31日の方で第2グループの期間内に免許状を更新した方

※ 第3グループの方も受講可能です。

「表1」

| 2022年3月31日現在の年齢 | 生年月日                | 受講期間                                   | 最初の修了確認期限                 |
|-----------------|---------------------|----------------------------------------|---------------------------|
| 満65歳            | 昭和31年4月2日～昭和32年4月1日 | 令和2年2月1日<br>～令和4年1月31日<br>(2022年1月31日) | 令和4年3月31日<br>(2022年3月31日) |
| 満55歳            | 昭和41年4月2日～昭和42年4月1日 |                                        |                           |
| 満45歳            | 昭和51年4月2日～昭和52年4月1日 |                                        |                           |

【注意】栄養教諭を対象とする本学の講習は、必修講習と選択必修講習の一部のみに限られます。

### (2) 免許状更新講習の受講対象者

#### 【受講対象者(※新免許状・旧免許状共通)】

更新講習の受講対象者(講習を受講できる者)は、普通免許状又は特別免許状を有する者で、以下に該当する者です。

- (1) 現職教員(校長、副校長、教頭を含む。ただし、指導改善研修中の者を除く)
  - (2) 実習助手、寄宿舍指導員、学校栄養職員、養護職員
  - (3) 教育長、指導主事、社会教育主事、その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する指導等を行う者
  - (4) (3)に準ずる者として免許管理者が定める者
  - (5) 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の教員
  - (6) 上記に掲げる者のほか、文部科学大臣が別に定める者
- また、今後教員になる可能性が高い者として、
- (7) 教員採用内定者
  - (8) 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用(または非常勤)教員リストに登録されている者
  - (9) 過去に教員として勤務した経験のある者
  - (10) 認定こども園で勤務する保育士
  - (11) 認可保育所で勤務する保育士
  - (12) 幼稚園を設置する者が設置する認可外保育施設で勤務している保育士
- も更新講習を受講することができます。

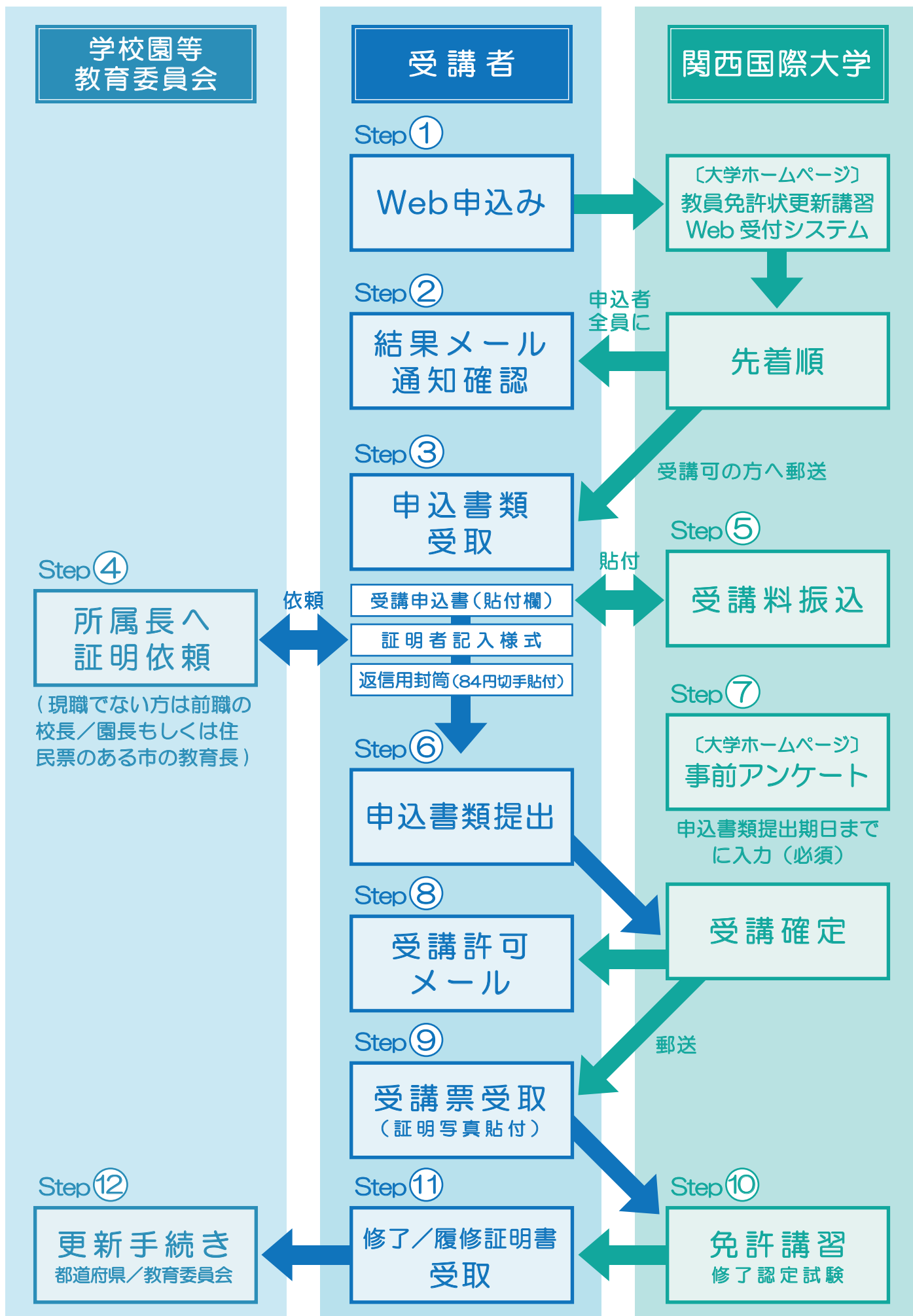
#### 【受講義務者(※旧免許状所持者のみ)】

旧免許状所持者の受講対象者のうち、(1)、(3)、(4)、(6)については受講義務者(更新講習の受講義務がある者)になります。

**ご自身が受講資格者かどうか不明な場合は、都道府県教育委員会等でご確認ください。**

■ 申込～受講～認定～更新までの流れ

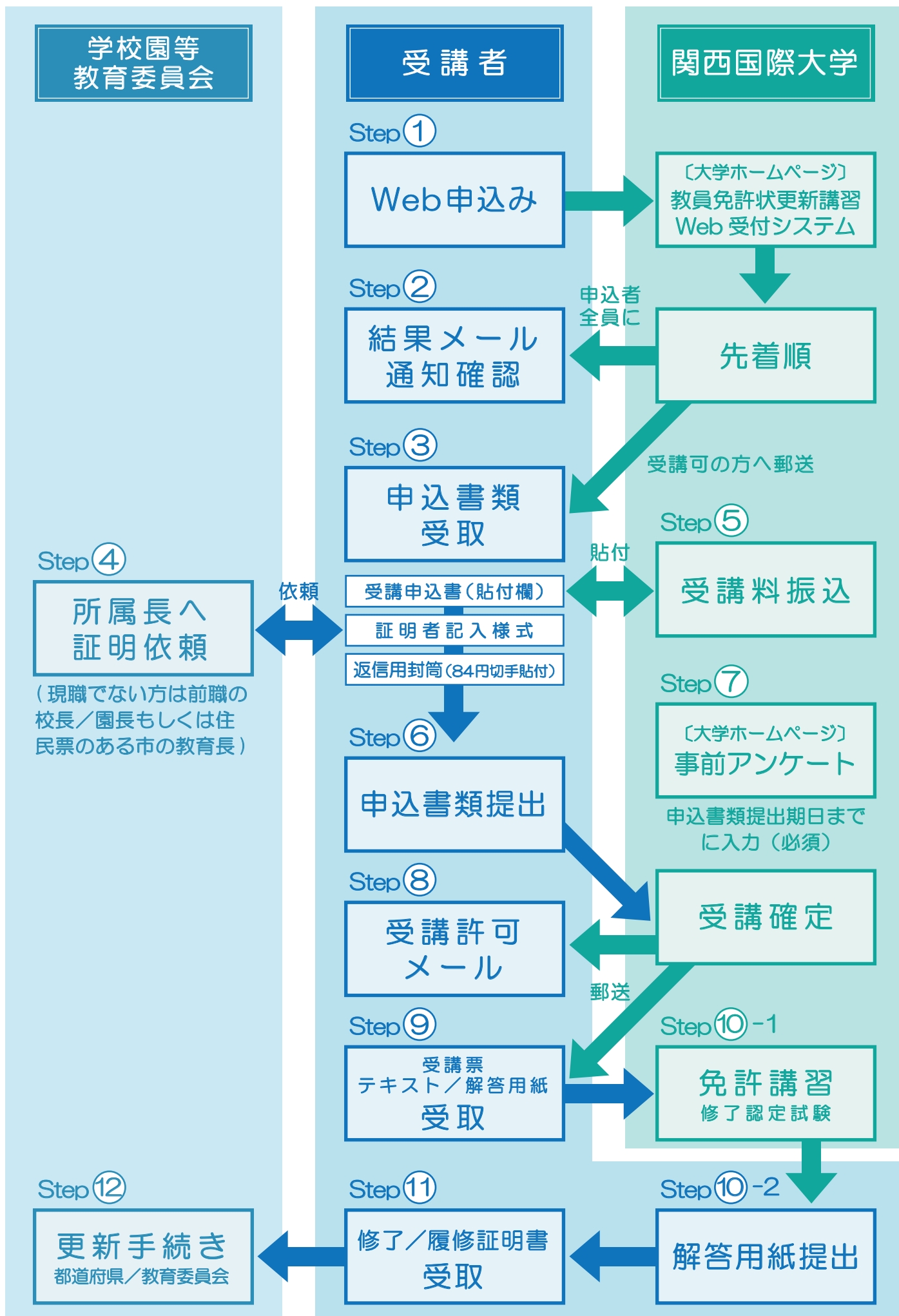
尼崎キャンパスでの対面式講習／三木キャンパスでの遠隔式講習



■ 申込～受講～認定～更新までの日程と手順  
 尼崎キャンパスでの対面式講習／三木キャンパスでの遠隔式講習

| 【Web申込み】                 |                                             |                                                                       |
|--------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| Step ①<br>Web申込(先着順)     | R3年5月17日(月)10時<br>～ 5月31日(月)17時             | [Web申込みのみ]各キャンパスの定員に<br>達し次第、申込みを終了します                                |
| Step ②<br>結果メール通知確認      | R3年6月4日(金)<br>までに通知・発送                      | 申込者全員に結果メールの通知、<br>申込書類・募集要項を発送する                                     |
| Step ③<br>申込書類・募集要項の受取   |                                             |                                                                       |
| Step ④<br>所属長等へ証明依頼      | ～ R3年6月21日(月)<br>までに提出<br>＜期日厳守・当日必着＞       | 受講料振込確認・申込書類の提出<br>により「受講確定」とする                                       |
| Step ⑤<br>受講料の振込         |                                             |                                                                       |
| Step ⑥<br>申込書類の提出        |                                             |                                                                       |
| Step ⑦<br>事前アンケート        |                                             | 大学ホームページより入力（必須）                                                      |
| Step ⑧<br>受講許可メール        | R3年6月30日(水)<br>までに通知                        | 受講確定者全員にメールを通知する                                                      |
| Step ⑨<br>受講票の受取         | R3年7月26日(月)<br>までに発送                        | 受講票に証明写真を貼付したうえで、受<br>講当日に持参する                                        |
| Step ⑩<br>免許講習の受講と修了認定試験 | R3年8月2日(月)<br>～ 8月7日(土)                     | 各講習終了後に「修了認定試験」を<br>実施し100点満点中60点以上で合格                                |
| Step ⑪<br>修了／履修証明書の受取    | R3年9月末までに発送                                 | Web申込み登録の住所に発送する                                                      |
| Step ⑫<br>更新手続き          | 各自の修了確認期限又は有効<br>期間満了日の2か月前までに<br>各自で手続きを行う | 所定の時間全て修了した後、各自で免許<br>管理者である都道府県教育委員会に<br>修了確認申請又は有効期間更新申請の<br>手続きをする |

■ 申込～受講～認定～更新までの流れ  
Zoom によるオンライン講習



## ■申込～受講～認定～更新までの日程と手順

### Zoomによるオンライン講習

| 【Web申込み】                       |                                             |                                                                                   |
|--------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Step ①<br>Web申込(先着順)           | R3年5月17日(月)10時<br>～ 5月31日(月)17時             | [Web申込みのみ]定員に達し次第、申込みを終了します                                                       |
| Step ②<br>結果メール通知確認            | R3年6月4日(金)<br>までに通知・発送                      | 申込者全員に結果メールの通知、<br>申込書類・募集要項を発送する                                                 |
| Step ③<br>申込書類・募集要項の受取         |                                             |                                                                                   |
| Step ④<br>所属長等へ証明依頼            | ～ R3年6月21日(月)<br>までに提出<br>＜期日厳守・当日必着＞       | 受講料振込確認・申込書類の提出<br>により「受講確定」とする                                                   |
| Step ⑤<br>受講料の振込               |                                             |                                                                                   |
| Step ⑥<br>申込書類の提出              |                                             |                                                                                   |
| Step ⑦<br>事前アンケート              |                                             | 大学ホームページより入力（必須）                                                                  |
| Step ⑧<br>受講許可メール              | R3年6月30日(水)<br>までに通知                        | 受講確定者全員にメールを通知する                                                                  |
| Step ⑨<br>受講票・テキスト・解答用紙<br>の受取 | R3年7月26日(月)までに発<br>送                        | Zoomによるオンライン講習に伴う、テ<br>キスト・解答用紙・事後アンケートを発<br>送する（Zoomによるオンライン講習の<br>み受講の方は写真添付不要） |
| Step ⑩<br>免許講習の受講と修了認定試験       | R3年8月2日(月)<br>～ 8月7日(土)                     | 各講習終了後に「修了認定試験」を<br>実施し100点満点中60点以上で合格                                            |
| Step ⑪<br>解答用紙の提出              | ～ R3年8月19日(木)<br>までに提出<br>＜期日厳守・当日必着＞       | 解答用紙・事後アンケートを提出する                                                                 |
| Step ⑫<br>修了／履修証明書の受取          | R3年9月末までに発送                                 | Web申込み登録の住所に発送する                                                                  |
| Step ⑬<br>更新手続き                | 各自の修了確認期限又は有効<br>期間満了日の2か月前までに<br>各自で手続きを行う | 所定の時間全て修了した後、各自で免許<br>管理者である都道府県教育委員会に<br>修了確認申請又は有効期間更新申請の<br>手続きをする             |

## ■申込～受講～認定～更新までの詳細

### Step① Web申込

定員に達し次第、申込みを終了します。

### Step②・③ 結果メール通知／申込書類の受取

申込者全員に結果メールの通知、申込書類・募集要項を発送します。

### Step④ 所属長等へ証明依頼＜申込書類受取後、速やかに依頼を＞（証明者印は必ず公印）

申込書類「証明者記入様式」に、所属長等に受講対象者であることの証明を受けてください。証明の方法は、次の「受講対象者の証明方法について」を参照ください。

### ○受講対象者の証明方法について

| 受講対象者の区分                 |                                                                                                                                                      |                      | 証明の方法（※注）               |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-------------------------|
| 教育職員・<br>教育の職            | 教育職員（主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、主幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭、助保育教諭、講師）<br>（免許法第9条の3Ⅲ①）<br>校長（園長）、副校長（副園長）、教頭、実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員<br>（免許状更新講習規則第9条Ⅰ①） | 公立学校                 | 校長の証明<br>※校長本人の場合は教育委員会 |
|                          |                                                                                                                                                      | 国立学校                 | 校長の証明<br>※校長本人の場合は法人の長  |
|                          |                                                                                                                                                      | 私立学校                 | 校長の証明<br>※校長本人の場合は法人の長  |
|                          |                                                                                                                                                      | 共同調理場に勤務する<br>学校栄養職員 | 場長の証明<br>※場長本人の場合は教育委員会 |
|                          | 指導主事、社会教育主事その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する専門的事項の指導等に関する事務に従事している者（免許状更新講習規則第9条Ⅰ②）                                                                         |                      | 任命権者の証明                 |
|                          | 国・地方公共団体の職員等で、上記の者に準ずる者として免許管理者が定める者（免許状更新講習規則第9条Ⅰ③）                                                                                                 |                      | 任命権者又は雇用者の証明            |
|                          | その他文部科学大臣が定める者（免許状更新講習規則第9条Ⅰ④）                                                                                                                       |                      | その者の任命権者・雇用者の証明         |
| 教員採用内定者・<br>教員採用内定者に準ずる者 | 教員採用内定者（免許法第9条の3Ⅲ②）                                                                                                                                  |                      | 任用又は雇用予定の者の証明           |
|                          | 教員勤務経験者（免許状更新講習規則第9条Ⅱ①）                                                                                                                              |                      | 任用又は雇用していた者の証明          |
|                          | 認定こども園及び認可保育所の保育士<br>（免許状更新講習規則第9条Ⅱ②）                                                                                                                |                      | 当該施設の長の証明               |
|                          | 幼稚園と同一の設置者が設置する認可外保育施設に勤務する保育士<br>（免許状更新講習規則第9条Ⅱ②）                                                                                                   |                      | 当該施設の設置者の証明             |
|                          | 教育職員となることが見込まれる者（臨時任用リスト搭載者等）（免許状更新講習規則第9条Ⅱ③）                                                                                                        |                      | 任用又は雇用する可能性がある者の証明      |

（※注）証明者については例示であり、受講申込みを行う者の任命権者が定めた者による証明であれば差し支えない。

（例えば、現職の公立学校教諭の証明者が校長ではなく教育委員会の教育事務所長であった場合など。）

### Step⑤ 受講料の振込＜期日厳守＞ [ 6/21(月)振込期限]

「申込書類」一式を受け取った方は、所定期日までに受講料をお振り込みください。

期日までにお振り込みされない場合は、辞退扱いとなります。

|        | 1 講習の受講料 | 1 講習の時間数 | 申込限度       |
|--------|----------|----------|------------|
| 必修講習   | 6,000円   | 6時間(1日)  | 1 講習(6時間)  |
| 選択必修講習 | 6,000円   | 6時間(1日)  | 1 講習(6時間)  |
| 選択講習   | 6,000円   | 6時間(1日)  | 3 講習(18時間) |

※全日程＜30時間(5日)＞の講習を受講される場合、

必修1講習(6,000円)＋選択必修1講習(6,000円)＋選択3講習(18,000円)＝ 30,000円  
が必要となります。

### 受講振込先

銀行名：三井住友銀行 緑が丘支店  
口座番号：(普)3720341  
口座名義：ガッコウホウジン ハマナヤマテガクイン カンサイコクサイダイガク  
お振込人：受講番号(4桁の数字) + 受講者氏名

- (1) 振込人は、「申込書類に同封された通知に記載された受講番号(4桁の数字)」と「受講者本人の氏名」で振込を行ってください。例：1234関西花子
- (2) 本学窓口では、受講料(現金)の授受は行いません。
- (3) 受講料納付欄(申込書裏面)にお振込明細(コピー可)を貼付して提出してください。
- (4) インターネットバンキング等で振込される場合は、決済確認画面や取引画面の印刷用紙を貼付し提出してください(残高や他の取引情報箇所は塗りつぶしてください)。
- (5) 振込手数料は本人負担となります。

## Step⑥ 申込書類の提出<当日消印有効> [6/21(月)提出期限]

### 提出書類

- ① 免許状更新講習受講申込書(写真添付1カ所)
- ② 証明者記入様式(証明者印は私印ではなく、必ず公印)
- ③ 返信用封筒(宛先を明記し、切手84円分を添付)

- (1) 上記書類①・②は、本学ホームページ「Q&A」からダウンロードできます。
- (2) 本学所定の封筒を用いて簡易書留(速達不要)で期限までに提出してください。
- (3) 受講料の振込と申込書類の確認をもって、「受講確定」となります。
- (4) 「証明者記入欄」に記載・押印もれがある場合は、いったん返送します。必ず所属長による証明を受けてください。  
※証明者印は必ず公印(私印不可)  
※現職でない方は、前職の校長/園長、もしくは住民票のある教育委員会の証明が必要となります。
- (5) 本学窓口へご持参いただく場合は、尼崎キャンパス3階事務室までお越しください(三木キャンパスでは、この講習に関する窓口はございません)。

## Step⑦ 事前アンケート

本学ホームページより事前アンケートにお答えください(必須)。  
入力期限は6/21(月)までといたします。



QRコード

## Step⑧ 受講許可メール

6月30日(水)までに、受講確定者全員へメールにて通知いたします。

## Step⑨ 受講票の受取

7月26日(月)までに、受講票を発送します。尼崎キャンパスもしくは三木キャンパスで受講される方は、証明写真を貼付したうえで、講習日に持参してください。Zoomによるオンライン講習のみ受講の方は写真添付は不要となります。

## Step⑩ テキスト・解答用紙の受取(Zoomによるオンライン講習)

7月26日(月)までに、Zoomによるオンライン講習に伴う、テキスト・解答用紙を発送します。尼崎キャンパスもしくは三木キャンパスで受講される方には、講習日にテキスト・解答用紙を配布します。

## Step⑩ 免許講習の受講と修了認定試験

### 各キャンパスでの講習

- (1) 各キャンパスで受講をされる方は、全日程において8時55分までに受付を済ませて、指定教室に入室完了してください。  
※原則として遅刻は認められません。  
講習開始20分以上遅刻した場合、受講しても履修認定はされません。
- (2) 基本的にタイムスケジュールは以下の表通りの進行です。ただし、複数回の試験を実施する講習、小休憩やお昼休み、講義進行によって多少前後することをご了承ください。
- (3) 講義終了後に認定試験を行います。
- (4) 事後アンケートは、文部科学省様式第8号「免許状更新講習受講者評価書」による実施です。  
※認定試験と同時に配布し、認定試験解答後に5分程度の時間を設けて回答していただきます。

### Zoomによるオンライン講習

- (1) Zoomで受講される方は、8時50分までにZoomにログインしてください。  
※原則として遅刻は認められません。  
講習開始20分以内にログイン出来なかった場合、受講しても履修認定はされません。
- (2) 基本的にタイムスケジュールは以下の表通りの進行です。ただし、複数回の試験を実施する講習、小休憩やお昼休み、講義進行によって多少前後することをご了承ください。
- (3) 講義終了後に認定試験を行います。
- (4) 事後アンケートは、文部科学省様式第8号「免許状更新講習受講者評価書」による実施です。
- (5) 試験解答後、解答用紙及び、事後アンケートを本学までご郵送ください。提出期限は8月19日(木)必着。ご提出のない場合は、不合格の扱いとなりますのでご注意ください。

|           | 終日講師が同じ講習                                                                                 | 午前と午後で講師が違う講習                                                                             |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受付開始      | (会場) エントランス 8:10~8:55 入室・着席完了<br>(Zoom) 8:50 までにログイン                                      |                                                                                           |
| オリエンテーション | 8:55~9:00(5分)                                                                             |                                                                                           |
| 午前講習      | (講師案内後)<br><br>◆9:00~12:00<br>(小休憩 20分程度含む)                                               | (講師案内後)<br><br>◆9:00~11:45<br>(小休憩 20分程度含む)                                               |
|           |                                                                                           | (試験配布・説明) 11:45~11:55(10分)<br>◆11:55~12:25(30分) 認定試験<br>(試験回収) 12:25~12:30(5分)            |
| お昼休み      | 12:00~13:00(60分)                                                                          | 12:30~13:30(60分)                                                                          |
| 午後講習      | (講師案内後)<br><br>◆13:00~15:40<br>(小休憩 20分程度含む)                                              | (講師案内後)<br><br>◆13:30~16:15<br>(小休憩 20分程度含む)                                              |
|           | (試験配布・説明) 15:40~15:50(10分)<br>◆15:50~16:25(35分)<br>認定試験・事後アンケート<br>(試験回収) 16:25~16:30(5分) | (試験配布・説明) 16:15~16:25(10分)<br>◆16:25~17:00(35分)<br>認定試験・事後アンケート<br>(試験回収) 17:00~17:05(5分) |

## Step⑪ 修了/履修証明書の受取

---

- (1) 認定試験の可否は講習ごとに判定します。
- (2) 本学の認定試験は、講習ごとに、60点(100点満点中)以上で履修認定(合格)となります。
- (3) 合格された講習について、修了または履修証明書を本学から発送いたします。

### **修了証明書** 認定された講習時間の合計が30時間以上

必修1講習、選択必修1講習・選択3講習をすべて履修し、認定試験に合格された方

### **履修証明書** 認定された講習時間の合計が30時間に満たない方

一部の講習を履修し、認定試験に合格された方

## Step⑫ 更新手続き (各自の修了確認期限又は有効期間満了日の2か月前までに、各自で行う)

---

大学等が発行した「免許状更新講習(修了)/(履修)証明書」を所持しているだけでは、教員免許の更新はできていません。更新するには各自で都道府県教育委員会に有効期間を更新する申請が必要です。

免許管理者である都道府県教育委員会(教員の方は勤務校のある都道府県教育委員会、教員以外の方は住所地の都道府県教育委員会)に各自の修了確認期限又は有効期間満了日の2か月前までに、30時間以上の更新講習を受講し、修了確認申請又は有効期間更新申請の手続きをする必要があります。

## ■受講に関する注意事項

### 尼崎キャンパスでの対面式講習／三木キャンパスでの遠隔式講習

#### 1. 出欠確認について

- ①会場に到着後は、受付場所にお越しください。
- ②本人確認のため、受付にて「受講票」を提示してください。
- ③受講票の紛失あるいは忘れた場合、当日に再発行いたします。  
予め「本人確認できる書類(運転免許証・保険証等)を持参いただき、受付で申し出てください。

#### 2. 遅刻・欠席等について 《原則として、遅刻・欠席は認められません》

講習時間は、法律で定められた時間を基準に設定しております。

- ①9：20以降の遅刻あるいは早退された場合は、欠席と判断され試験を受けることができません  
(警報発令やJR等の運休により、講習の開始が全体的に遅れる場合は、この限りではありません)。
- ②自動車でお越しの際に生じた、渋滞等道路事情、事故による遅刻は一切認められません。

#### 3. その他

- ①代理受講は認めません。
- ②当日のテキスト等資料は受付にて配布します。
- ③本学でのコピーサービスは、講師の指示・許可があったものを除き行っておりません。
- ④受講中のスマートフォン等による録音・録画および写真撮影は必ず講師の指示に従ってください。
- ⑤キャンパス建物内は完全禁煙です。喫煙は喫煙スペースでお願いします。
- ⑥貴重品は各自の責任において管理してください。万一盗難等の事故があっても本学は一切の責任を負いかねます。
- ⑦受講中は携帯電話・スマートフォンの電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。
- ⑧当日の昼食は学生食堂をご利用いただけます。ただし、混雑緩和のためメニューを限定しての営業となります。昼食ご持参の方は、指定された教室・スペース等をご利用ください。
- ⑨教室内は空調管理(冷房)をしています。上着を持参いただくなど、温度調節できる服装でお越しください。
- ⑩**尼崎キャンパス** 駐車場はご利用いただけません。自動車・オートバイ(原付含む)でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。  
**三木キャンパス** 駐車場をご利用できますので、お車でお越しいただくことが可能です。ただし、渋滞など交通事情や交通事故による遅刻はいかなる理由も認められないのでご注意ください。また、スクールバスは運行いたしません。
- ⑪**尼崎キャンパス** **三木キャンパス** 自転車でお越しの方は、本学の駐輪場をご利用いただけます。
- ⑫講習中は、スタッフが教室に入り、写真撮影を行いますのでご承知おきください。撮影した写真は本学ホームページや事業報告書等に掲載するために利用し、その他の目的には利用しません。また、その際は個人が特定されることのないよう掲載には配慮いたします。

#### 4. 当日の持ち物

- ①受講票
- ②本人確認ができるもの(運転免許証、保険証等)
- ③筆記用具(ノート、シャープペンもしくは鉛筆、消しゴム)
- ④講習により、事前に持参することが指示されているもの(教材、のり、はさみ等)
- ⑤飲料水(熱中症予防のため、ペットボトルや水筒)
- ⑥必要に応じて、温度調節のできる服装や座布団・クッション等

## ■受講に関する注意事項

### Zoomによるオンライン講習について

#### 1. ログイン用URLについて

- ①Zoomによる講習のアドレスにつきましては、メールにて事前にご連絡いたします。

#### 2. 受講中の注意点について

- ①8時50分までにZoomにログインしてください。  
※原則として遅刻は認められません。  
講習開始20分以内にログイン出来なかった場合、受講しても履修認定はされません。
- ②受講中は原則ミュートにしてください（講師の指示に従ってください）。
- ③表示名は「受講番号 氏名」としてください（名字だけでも結構です）。
- ④回線状況により退出してしまうことがあります。速やかにURLよりログインしなおしてください。
- ⑤ビデオ表示は講師の指示に従ってください。
- ⑥受講中の質問やトラブルは、チャットにてご連絡ください。

#### 3. 認定試験・事後アンケートの注意点について

- ①試験問題につきましては、zoomの画面共有機能を利用し、画面上に表示いたします。
- ②原則、試験時間のみ閲覧可能となります。
- ③画面上の試験問題を参照のうえ、郵送された『解答用紙』に直筆で解答をご記入ください。
- ④講習終了後、『解答用紙』『事後アンケート』をご記入のうえ、速やかに本学までご返送ください

## ■講習の中止等について

1. 気象警報や交通機関の運休、講師の病気等により、やむを得ず講習を中止・延期する必要がある場合は、その措置について、講習係から受講生の登録メールアドレス宛に連絡いたします。
2. 休講検討基準  
次の(1)(2)(3)いずれかの事態が発生した場合、開講の可否を検討します。  
(1) 災害・事故やストライキ等により、「JR神戸線(大阪駅～三ノ宮駅間)」が運休した場合  
(2) 特別警報、暴風警報が次のいずれかの地域に発令された場合  
兵庫県南部阪神地区、大阪府大阪市・北大阪  
(3) 講師の体調不良等による場合

### 3. 開講基準

交通機関の運行再開および暴風警報解除の場合は、次の基準により講習等を実施します。

| 運行開始の時刻および<br>警報解除時刻 | 講習の取扱い         | 備考                                        |
|----------------------|----------------|-------------------------------------------|
| 7:00まで               | 予定通り実施         | 運行状況等で講習開始時間に間に合わない場合は、本学講習係にご連絡・ご相談ください。 |
| 8:00まで               | 開始時刻を1時間ずらして実施 |                                           |
| 9:00まで               | 開始時刻を2時間ずらして実施 |                                           |
| 9:00以降               | 休講             |                                           |

## ■不可抗力により講習を中止する場合の取り扱い

講師のやむを得ない事情や自然災害等の不可抗力によって講習実施が不可能となった場合、受講料を全額返金いたします。なお、講習の振替はいたしませんのでご了承ください。

## ■その他の留意事項

### ◎認定試験成績の開示について

受講者本人からの願い出があった場合に限り、次のとおり認定試験成績の開示を行います。

- (1) 開示請求期間：令和3年10月1日(金)～令和3年10月7日(木)（最終日必着）
- (2) 開 示 内 容：履修認定試験の成績(素点)、採点済み答案の写し
- (3) 開示請求方法：本学の教員免許状更新講習ホームページから「認定試験成績開示願」をダウンロードし、必要事項を記入の上、返送用切手370円を同封し次の送付先までご郵送ください。

【送付先】〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1-3-23

関西国際大学 教員免許状更新講習係 (TEL: 06-6496-4103)

- (4) 成績開示は郵便局の「レターパックライト」でご指定の住所宛に郵送します。

### ◎個人情報の取り扱いについて

本学は、個人情報の取り扱いを定めた法令等を順守し適正な保護に努めます。当講習の受講申込みにあたり、皆さまから取得した個人情報については、次の目的に限り利用いたします。

- (1) 講習運営に関する業務(受講及び履修認定に関すること)
- (2) 教育委員会からの履修認定に関する照会対応
- (3) 大学評価に関するデータ提供
- (4) 文部科学省の免許講習に関する実施調査
- (5) 本学主催の各種講座・講習会・研修会等イベントのご案内

## ◎特別な措置を必要とする方の受講について

---

障がいや有している方や健康上配慮が必要な方（疾病、妊娠等）は、希望する配慮・支援内容について受講申込書に記入してください。可能な範囲で個別での対応に応じます（ただし、状況によっては、ご期待にそえない場合もございます）。

## ◎託児サービスについて

---

託児サービスは行っておりません。お子さま連れでの受講はできません。

## ◎保険の加入について

---

講習受講に係る保険については、各受講者が必要に応じて加入してください。

## ■e ラーニングによる教員免許状更新講習

遠方の方や勤務・ご家庭の事情により通学が困難な方のために、9月から自宅学習型「e ラーニング講習」を実施いたします。万が一、講習が不合格になった場合にもe ラーニングにて受講し、免許状の更新が可能です。

※受講料は 1 科目 9,000 円

- (1) 希望科目数の申込落選による受講できず、不足科目数を補いたいと思っている方
- (2) 本講習日程上、休暇取得が難しく、不足科目数を補いたいと思っている方
- (3) 小さなお子さまがいる方で、託児サービスやご家族等の協力が得られない方
- (4) 猛暑時期の講習により、連日の通学に対して複数受講への体調に自信がない方
- (5) 妊婦の方など

以上の項目に該当される方は、是非「e ラーニング」教員免許状更新講習の受講をご検討ください。

■令和3（2021）年度 教員免許状更新講習一覧

【主な受講対象者】幼：幼稚園教諭、小：小学校教諭、中：中学校教諭、高：高等学校教諭、特支：特別支援学校教諭、養：養護教諭

【注意】昨年度と同じ講習名・内容の講習を選ぶことはできません。

| 日程             | 領域   | 講習No. | 時間                  | 講習名                                              | 担当講師                                 | 対象職種             | 主な受講対象者          | Zoom定員 | 尼崎<br>キャンパス<br>定員 | 三木<br>キャンパス<br>定員 | 受講方式   |      |
|----------------|------|-------|---------------------|--------------------------------------------------|--------------------------------------|------------------|------------------|--------|-------------------|-------------------|--------|------|
| 8/2<br>(月)     | 必修   | H1    | AM                  | 教育の最新事情Ⅰ                                         | 川村 光(教育学部教授)                         | 全教諭              | 全教員              | 240    |                   |                   | Zoom   |      |
|                |      |       | PM                  |                                                  | 花熊 暁(教育学部教授)                         |                  |                  |        |                   |                   |        |      |
|                | 選択必修 | SH1   | AM                  | 学習指導要領の改訂の動向等および<br>学校における危機管理上の課題について (No.1)    | 吉田 武大(教育学部准教授)                       | 全教諭              | 全教員              | 240    |                   |                   | Zoom   |      |
|                |      |       | PM                  |                                                  | 村田 昌彦(経営学部教授)                        |                  |                  |        |                   |                   |        |      |
|                | 選択   | S1    | 終日                  | 音に親しみ育む表現活動                                      | 島川 香織(教育学部准教授)                       | 教諭               | 幼・小              |        | 40                |                   | 対面     |      |
| 選択             | S2   | 終日    | 健康に生きるための医療リテラシー教育  | 谷口 一也(教育学部准教授)                                   | 教諭<br>養護教諭                           | 幼・小・中・<br>高・特支・養 | 240              | 120    | 120               | ハイブリッド            |        |      |
| 8/3<br>(火)     | 必修   | H2    | AM                  | 教育の最新事情Ⅱ                                         | 川村 光(教育学部教授)                         | 全教諭              | 全教員              | 240    | 120               | 120               | ハイブリッド |      |
|                |      |       | PM                  |                                                  | 花熊 暁(教育学部教授)                         |                  |                  |        |                   |                   |        |      |
|                | 選択   | S3    | 終日                  | 英語発音指導：入門編                                       | 有本 純(国際コミュニケーション学部教授)                | 教諭               | 小                |        | 40                |                   | 対面     |      |
| 選択             | S4   | 終日    | 乳幼児期の発達障害児の特性と関わり方  | 松本 恵美子(教育学部准教授)                                  | 教諭<br>養護教諭                           | 幼・小・特<br>支・養     | 240              |        |                   |                   | Zoom   |      |
| 8/4<br>(水)     | 選択必修 | SH2   | 終日                  | 子どもたちが「安全」で「安心」できる学級経営を<br>めざして～「心」や「発達」などの視点から～ | 百瀬 和夫(教育学部教授)                        | 教諭<br>養護教諭       | 幼・小・中・<br>高・特支・養 | 240    | 120               | 120               | ハイブリッド |      |
|                | 選択   | S5    | AM<br>PM            | 学校教育の現状と課題＋幼児の事実からの学びを考<br>える                    | 中橋 美穂(大阪教育大学教育学部准教授)                 | 教諭<br>養護教諭       | 幼・小・特<br>支・養     | 240    |                   |                   | Zoom   |      |
|                |      |       |                     |                                                  | 小田 豊(客員教授)                           |                  |                  |        |                   |                   |        |      |
|                | 選択   | S6    | 終日                  | 児童・生徒がやる気になる算数・数学の授業                             | 上原 昭三(教育学部准教授)                       | 教諭               | 小・中(数<br>学)      | 240    |                   |                   |        | Zoom |
| 選択             | S7   | 終日    | 幼稚園教育要領等の改訂と幼児教育の課題 | 下里 里枝(教育学部准教授)                                   | 教諭                                   | 幼                | 240              |        |                   |                   | Zoom   |      |
| 8/5<br>(木)     | 選択必修 | SH3   | 終日                  | 連携協力-貧困連鎖 教育で断て                                  | 道中 隆(教育学部教授)                         | 教諭<br>養護教諭       | 幼・小・中・<br>高・特支・養 | 240    | 120               | 120               | ハイブリッド |      |
|                | 選択   | S8    | 終日                  | 子どもと活動を楽しむための造形表現・図画工作科                          | 大西 洋史(教育学部准教授)                       | 教諭               | 幼・小              |        | 40                |                   | 対面     |      |
|                | 選択   | S9    | 終日                  | 英語の発音・音読指導                                       | 有本 純(国際コミュニケーション学部教授)                | 教諭               | 中(英語)・<br>高(英語)  |        | 40                |                   | 対面     |      |
|                | 選択   | S10   | AM<br>PM            | 少年非行の現状と指導のあり方                                   | 中山 誠(心理学部教授)                         | 教諭<br>養護教諭       | 幼・小・中・<br>高・特支・養 | 240    |                   |                   | Zoom   |      |
|                |      |       |                     |                                                  | 神垣 一規(心理学部講師)                        |                  |                  |        |                   |                   |        |      |
| 選択             | S11  | 終日    | 障害児を育てる保護者・きょうだい支援  | 松本 恵美子(教育学部准教授)                                  | 教諭<br>養護教諭                           | 幼・小・特<br>支・養     | 240              |        |                   |                   | Zoom   |      |
| 8/6<br>(金)     | 選択   | S12   | 終日                  | 特別支援教育における現状と課題                                  | 梶 正義(教育学部教授)                         | 教諭<br>養護教諭       | 幼・小・中・<br>高・特支・養 | 240    | 120               | 120               | ハイブリッド |      |
|                | 選択   | S13   | 終日                  | 遊びを生かした体育指導                                      | 大平 誠也(教育学部准教授)                       | 教諭               | 幼・小              |        | 70                |                   | 対面     |      |
|                | 選択   | S14   | 終日                  | 明日から使える国語実践                                      | 中西 一彦(教育学部教授)                        | 教諭               | 小・中(国<br>語)      | 240    |                   |                   |        | Zoom |
|                | 選択   | S15   | 終日                  | 教育の情報化と学校現場でのICT活用と<br>情報モラル教育の重要性について           | 山下 泰生(経営学部教授)                        | 教諭<br>養護教諭       | 幼・小・中・<br>高・特支・養 | 240    |                   |                   | Zoom   |      |
| 中嶋 康二(社会学部准教授) |      |       |                     |                                                  |                                      |                  |                  |        |                   |                   |        |      |
| 8/7<br>(土)     | 選択必修 | SH4   | AM<br>PM            | 学習指導要領の改訂の動向等および<br>学校における危機管理上の課題について (No.2)    | 白井 俊(客員教授、文科省初等中等教育局<br>初等中等教育改革室室長) | 全教諭              | 全教員              | 240    |                   |                   | Zoom   |      |
|                |      |       |                     |                                                  | 松下 義行(客員教授、学長特別補佐)                   |                  |                  |        |                   |                   |        |      |
|                | 選択   | S16   | 終日                  | いじめの実態と対処要領                                      | 山本 昌宏(心理学部教授)                        | 教諭<br>養護教諭       | 幼・小・中・<br>高・特支・養 | 240    | 120               | 120               | ハイブリッド |      |
| 選択             | S17  | 終日    | 総合的な学習の時間指導法        | 松尾 和宣(教育学部准教授)                                   | 教諭                                   | 小・中              | 240              |        |                   |                   | Zoom   |      |

※ 講習一覧の詳細は変更となる場合がございます。必ず本学ホームページをご確認ください。

【受講方式】

本年度の教員免許状更新講習は、Web申込みの際に次の3パターンの方式からお選びいただけます。各講習により選択出来る方式が異なりますのでご注意ください。

- ① Zoomによるオンライン講習 / ご自身のパソコン・スマホ等を使用し、ご自宅で講習を受講することが出来ます。また、解答用紙を事前に郵送いたしますのでご自宅で認定試験を受けることが出来ます。試験終了後は解答用紙を本学に郵送していただきます。
- ② 尼崎キャンパスでの対面式講習 / 尼崎キャンパスに来校し、対面講習にて受講していただきます。また、認定試験は当日に行います。
- ③ 三木キャンパスでの遠隔式講習 / 三木キャンパスに来校し、遠隔講習にて受講していただきます。また、認定試験は当日に行います。

※「ハイブリッド式講習」は、上記3パターンのいずれかの方式を選択することができます。

## ■講習概要

(必修 2 講習・選択必修 4 講習・選択 17 講習)

「主な受講対象者」は、講習内容から想定される主な受講対象者であり、対象となる学校種や教科種等をわかりやすく示したものです。受講者を制限するものではありませんので、学校種や教科種等が異なっている場合でも対象職種さえ該当すれば受講可能です。

「ハイブリッド式講習」の募集定員は次の内容となります。

- ・Zoom によるオンライン講習：240 名
- ・尼崎キャンパスでの対面講習：120 名
- ・三木キャンパスでの遠隔講習：120 名

### <必修講習>

| H1                                                                                                                                                                                                                                                       | Zoom | 教育の最新事情Ⅰ     |         |             | 必修                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|---------|-------------|--------------------------------------------------|
| 日時：8月2日（月）                                                                                                                                                                                                                                               |      | 8：55～17：00 頃 |         | 受講料：6，000 円 |                                                  |
| 定員                                                                                                                                                                                                                                                       | 時間数  | 対象職種         | 主な受講対象者 | 試験方法        | 担当講師                                             |
| 240 名                                                                                                                                                                                                                                                    | 6 時間 | 全教諭          | 全教員     | 筆記試験        | 【午前】川村 光<br>（教育学部教授）<br><br>【午後】花熊 暁<br>（教育学部教授） |
| 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」の2つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す（川村）。<br>「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」は、発達障害を始めとする特別な教育ニーズがある子どもの理解を基に、社会の変化とニーズの多様化に対応するための特別支援教育の観点に立った学級・授業づくり、保護者支援等について考察する（花熊）。 |      |              |         |             |                                                  |

| H2                                                                                                                                                                                                                                                       |      | ハイブリッド  |         | 教育の最新事情Ⅱ     |      | 必修                                               |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|---------|--------------|------|--------------------------------------------------|--|
| 日時                                                                                                                                                                                                                                                       |      | 8月3日（火） |         | 8：55～17：00 頃 |      | 受講料：6，000 円                                      |  |
| 定員                                                                                                                                                                                                                                                       | 時間数  | 対象職種    | 主な受講対象者 |              | 試験方法 | 担当講師                                             |  |
| 一                                                                                                                                                                                                                                                        | 6 時間 | 全教諭     | 全教員     |              | 筆記試験 | 【午前】川村 光<br>（教育学部教授）<br><br>【午後】花熊 暁<br>（教育学部教授） |  |
| 「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」の2つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す（川村）。<br>「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」は、発達障害を始めとする特別な教育ニーズがある子どもの理解を基に、社会の変化とニーズの多様化に対応するための特別支援教育の観点に立った学級・授業づくり、保護者支援等について考察する（花熊）。 |      |         |         |              |      |                                                  |  |

### <選択必修講習>

|                                                                                                     |      |                                          |         |      |                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------|---------|------|------------------------|
| SH1                                                                                                 | Zoom | 学習指導要領の改訂の動向等および学校における危機管理上の課題について(No.1) |         |      | 選択必修                   |
| 日時：8月2日(月)                                                                                          |      | 8：55～17：00 頃                             |         |      | 受講料：6,000 円            |
| 定員                                                                                                  | 時間数  | 対象職種                                     | 主な受講対象者 | 試験方法 | 担当講師                   |
| 240 名                                                                                               | 6 時間 | 全教諭                                      | 全教員     | 筆記試験 | 【午前】吉田 武大<br>(教育学部准教授) |
| 「学習指導要領の改訂の動向等」(吉田)は、学習指導要領や学習評価、キャリア教育等を取り上げる。「学校における危機管理上の課題」(村田)は、震災の教訓等を生かした防災・危機管理対策の強化充実を考える。 |      |                                          |         |      | 【午後】村田 昌彦<br>(経営学部教授)  |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |        |                                              |              |      |                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------------------|--------------|------|-------------------|
| SH2                                                                                                                                                                                                                                                                                             | ハイブリッド | 子どもたちが「安全」で「安心」できる学級経営をめざして～「心」や「発達」などの視点から～ |              |      | 選択必修              |
| 日時：8月4日（水）                                                                                                                                                                                                                                                                                      |        | 8：55～16：30 頃                                 |              |      | 受講料：6,000 円       |
| 定員                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 時間数    | 対象職種                                         | 主な受講対象者      | 試験方法 | 担当講師              |
| 一                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 6 時間   | 教諭、養護教諭                                      | 幼・小・中・高・特支・養 | 筆記試験 | 百瀬 和夫<br>（教育学部教授） |
| 積年の教育課題である「いじめ」や「体罰」などを引き起こす要因について、子どもたちの「発達」の特性や教師の心理や学校文化の側面から捉え、児童理解・指導（支援）理解を深める。それらのことから、教師自らの学級経営を再点検し、子どもたちが「安全」で「安心」できる学級経営力を高めていく機会とする積年の教育課題である「いじめ」や「体罰」などを引き起こす要因について、子どもたちの「発達」の特性や教師の心理や学校文化の側面から捉え、児童理解・指導（支援）理解を深める。それらのことから、教師自らの学級経営を再点検し、子どもたちが「安全」で「安心」できる学級経営力を高めていく機会とする。 |        |                                              |              |      |                   |

|                                                                                                                                                                                                      |      |              |              |                 |              |                  |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|--------------|-----------------|--------------|------------------|--|
| SH3                                                                                                                                                                                                  |      | ハイブリッド       |              | 連携協力-貧困連鎖 教育で断て |              | 選択必修             |  |
| 日時：8月5日（木）                                                                                                                                                                                           |      | 8：55～16：30 頃 |              |                 | 受講料：6, 000 円 |                  |  |
| 定員                                                                                                                                                                                                   | 時間数  | 対象職種         | 主な受講対象者      |                 | 試験方法         | 担当講師             |  |
| 一                                                                                                                                                                                                    | 6 時間 | 教諭、養護教諭      | 幼・小・中・高・特支・養 |                 | 筆記試験         | 道中 隆<br>（教育学部教授） |  |
| 児童・家庭を取り巻く社会情勢の理解や児童福祉法、児童虐待防止法をはじめとする支援に必要な法制度や支援体制及び方法についての理解を深める。教育をはじめ子どもの最善の利益を保障する観点から、子どもが生まれ育った環境により不利益を被ることなく、全ての子どもの可能性の芽を摘まない社会をめざすために学校がプラットフォームとして、地域や関係機関と連携し支援力の充実強化に向けた取り組みについて学修する。 |      |              |              |                 |              |                  |  |

|                                                                                                                                                                                  |      |                                          |         |      |                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------|---------|------|------------------------------------------|
| SH4                                                                                                                                                                              | Zoom | 学習指導要領の改訂の動向等および学校における危機管理上の課題について（No.2） |         |      | 選択必修                                     |
| 日時：8月7日（土）                                                                                                                                                                       |      | 8：55～17：00 頃                             |         |      | 受講料：6,000 円                              |
| 定員                                                                                                                                                                               | 時間数  | 対象職種                                     | 主な受講対象者 | 試験方法 | 担当講師                                     |
| 240 名                                                                                                                                                                            | 6 時間 | 全教諭                                      | 全教員     | 筆記試験 | 【午前】白井 俊<br>（客員教授、文科省初等中等教育局初等中等教育改革室室長） |
| 「学習指導要領の改訂の動向等」は、国際的なカリキュラム改革の動向も踏まえながら、我が国の学習指導要領改訂の背景やねらい等について検討するものである（白井）。<br>「学校における危機管理上の課題」は、学校における防犯対策や学校内外における安全対策・危機対応について、犯罪等の現況、池田小学校事件等の教訓を基に学校の安全対策等の充実強化を考える（松下）。 |      |                                          |         |      | 【午後】松下 義行<br>（客員教授、学長特別補佐）               |

# <選択講習>

|                                                                                                                                                                                |      |             |         |             |                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------|---------|-------------|--------------------|
| S1                                                                                                                                                                             | 尼崎対面 | 音に親しみ育む表現活動 |         |             | 選択                 |
| 日時：8月2日（月） 8：55～16：30 頃                                                                                                                                                        |      |             |         | 受講料：6,000 円 |                    |
| 定員                                                                                                                                                                             | 時間数  | 対象職種        | 主な受講対象者 | 試験方法        | 担当講師               |
| 40 名                                                                                                                                                                           | 6 時間 | 教諭          | 幼・小     | 筆記試験        | 島川 香織<br>（教育学部准教授） |
| 音楽を通した豊かな感性や表現は、自然や身近な環境・生活との関わりから、音に親しみ、感じたことや考えたことを自分なりに表現することから育まれるといえます。①感じたことや考えたことを音や動きで表現する、②表現活動のプロセスについて思考・判断し振り返る、③鍵盤楽器等の実技を伴った具体的な表現方法、④方法研究としての授業構成、について実践的に講義します。 |      |             |         |             |                    |

| S2                                                                                                                                                                          | ハイブリッド | 健康に生きるための医療リテラシー教育 |              |              | 選択                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------------|--------------|--------------|--------------------|
| 日時：8月2日（月） 8：55～16：30 頃                                                                                                                                                     |        |                    |              | 受講料：6, 000 円 |                    |
| 定員                                                                                                                                                                          | 時間数    | 対象職種               | 主な受講対象者      | 試験方法         | 担当講師               |
| 一                                                                                                                                                                           | 6 時間   | 教諭、養護教諭            | 幼・小・中・高・特支・養 | 筆記試験         | 谷口 一也<br>（教育学部准教授） |
| iPS 細胞やゲノム編集技術などバイオテクノロジーの進展は目覚ましく、農業、医療、エネルギー分野への応用が進んでいます。学校教育においても新たな内容が追加され、がん教育を含む健康教育の重要性が高まっています。本講習では、話題となっているバイオテクノロジーや感染症、がん教育などについて基本的な内容を分かりやすくお伝えし、議論の場を提供します。 |        |                    |              |              |                    |

|                                                                                                                                                   |      |              |         |             |                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|---------|-------------|---------------------------|
| S3                                                                                                                                                | 尼崎対面 | 英語発音指導：入門編   |         |             | 選択                        |
| 日時：8月3日（火）                                                                                                                                        |      | 8：55～16：30 頃 |         | 受講料：6,000 円 |                           |
| 定員                                                                                                                                                | 時間数  | 対象職種         | 主な受講対象者 | 試験方法        | 担当講師                      |
| 40 名                                                                                                                                              | 6 時間 | 教諭           | 小       | 筆記試験        | 有本 純<br>（国際コミュニケーション学部教授） |
| 英語の音声に関する基礎知識がない方を対象に、日英語の音声の違いについて解説します。また、グループワークを通して現状の課題を共有し、解決法の検討もします。次に、先生自身の発音チェックと発音指導法についてワークショップ形式で、実践的に指導します。英語絵本の読み聞かせやチャンツの実習も行います。 |      |              |         |             |                           |

| S4                                                                                                                                                                                                                               |      | Zoom    |          | 乳幼児期の発達障害児の特性と関わり方 |      | 選択                  |  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|----------|--------------------|------|---------------------|--|
| 日時：8月3日（火）                                                                                                                                                                                                                       |      |         |          | 8：55～16：30 頃       |      | 受講料：6,000 円         |  |
| 定員                                                                                                                                                                                                                               | 時間数  | 対象職種    | 主な受講対象者  |                    | 試験方法 | 担当講師                |  |
| 240 名                                                                                                                                                                                                                            | 6 時間 | 教諭、養護教諭 | 幼・小・特支・養 |                    | 筆記試験 | 松本 恵美子<br>（教育学部准教授） |  |
| 発達障害の幼児期の子ども達の発達特性について細かく理解することで、発達障害の子供たちの困り感に寄り添い、その対応について考えていきます。そのプロセスで、日ごろ子どもたちに接していられる先生方に子どもの発達の支えについて再度考えて頂ける機会を提供できればと考えています。そして最後まで子どもたちに付き合わねばならない保護者と、どのように療育のためのパートナーシップを組めば、保護者を本当に支えることができるのかも、一緒に考えて頂ければと考えています。 |      |         |          |                    |      |                     |  |

| S5                                                                                                                                                                               | Zoom | 学校教育の現状と課題＋幼児の事実からの学びを考える |          |      | 選択                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------|----------|------|----------------------------------------------------------------------|
| 日時：8月4日（水）                                                                                                                                                                       |      | 8：55～17：00 頃              |          |      | 受講料：6,000 円                                                          |
| 定員                                                                                                                                                                               | 時間数  | 対象職種                      | 主な受講対象者  | 試験方法 | 担当講師                                                                 |
| 240 名                                                                                                                                                                            | 6 時間 | 教諭、養護教諭                   | 幼・小・特支・養 | 筆記試験 | 【午前】中橋 美穂<br>（大阪教育大学<br>教育学部准教授）<br><br>【午後】小田 豊<br>（関西国際大学<br>客員教授） |
| 近年、急速な少子化の進行や核家族化等の社会の変化を背景として、家庭や地域社会の教育力の低下や深刻な子どもの事件等が発生し、また、それに伴い、子どもたちの教育の充実や子育て支援の質の充実が求められている。こうした教育に関わる諸課題にどのように対応していけばよいのかを様々な角度から考えてみたい。幼児期の事実の記録方法や幼小接続の課題についても取り上げる。 |      |                           |          |      |                                                                      |

| S6                                                                                        | Zoom | 児童・生徒がやる気になる算数・数学の授業 |         |             | 選択                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------|---------|-------------|--------------------|
| 日時：8月4日（水）                                                                                |      | 8：55～16：30 頃         |         | 受講料：6,000 円 |                    |
| 定員                                                                                        | 時間数  | 対象職種                 | 主な受講対象者 | 試験方法        | 担当講師               |
| 240 名                                                                                     | 6 時間 | 教諭                   | 小・中（数学） | 筆記試験        | 上原 昭三<br>（教育学部准教授） |
| 公立・国立中学校での経験を踏まえ、子ども達が食いつく算数・数学の教材づくりや授業の組み立て、また発問・板書など授業技術等について、実践を紹介しながら深めていきたいと考えています。 |      |                      |         |             |                    |

| S7                                                                                                                                                                     | Zoom | 幼稚園教育要領等の改訂と幼児教育の課題 |         |             | 選択                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------|---------|-------------|--------------------|
| 日時：8月4日（水）                                                                                                                                                             |      | 8：55～16：30 頃        |         | 受講料：6,000 円 |                    |
| 定員                                                                                                                                                                     | 時間数  | 対象職種                | 主な受講対象者 | 試験方法        | 担当講師               |
| 240 名                                                                                                                                                                  | 6 時間 | 教諭                  | 幼       | 筆記試験        | 下里 里枝<br>（教育学部准教授） |
| 「幼稚園教育要領」等の改訂の趣旨をふまえ、保育・教育をめぐるさまざまな課題と展望について講義する。（１）「幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿」他について（２）小学校との接続について（３）保育者（保育教諭）の専門性についてなど、（４）保育に果たすおもちゃの役割など、おもちゃの紹介や、参加者とのディスカッションも交えて進行する。 |      |                     |         |             |                    |

| S8                                                                                                                                                                    | 尼崎対面 | 子どもと活動を楽しむための造形表現・図画工作科 |         |             | 選択                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|---------|-------------|--------------------|
| 日時：8月5日（木）                                                                                                                                                            |      | 8：55～16：30 頃            |         | 受講料：6,000 円 |                    |
| 定員                                                                                                                                                                    | 時間数  | 対象職種                    | 主な受講対象者 | 試験方法        | 担当講師               |
| 40 名                                                                                                                                                                  | 6 時間 | 教諭                      | 幼・小     | 筆記試験        | 大西 洋史<br>（教育学部准教授） |
| 美術教育の現状を踏まえ今日の美術の状況をどのように学校教育に反映させるべきかについて、教材としての具体的な取り入れ方を通して美術教育の今日性を考えます。その上で、題材や授業を具体的に構想する力や子どもの自発的・主体的な学習を保障しながら授業を展開する力など、美術教育に関する理論的・実践的力量的形成を講義と実技を通してはかります。 |      |                         |         |             |                    |

| S9                                                                                                                                                                                  |      | 尼崎対面         |             | 英語の発音・音読指導 |              | 選択                        |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|-------------|------------|--------------|---------------------------|--|
| 日時：8月5日（木）                                                                                                                                                                          |      | 8：55～16：30 頃 |             |            | 受講料：6, 000 円 |                           |  |
| 定員                                                                                                                                                                                  | 時間数  | 対象職種         | 主な受講対象者     |            | 試験方法         | 担当講師                      |  |
| 40 名                                                                                                                                                                                | 6 時間 | 教諭           | 中（英語）・高（英語） |            | 筆記試験         | 有本 純<br>（国際コミュニケーション学部教授） |  |
| 扱う分野は、発音と音読指導です。①日英語の音声に関する比較について概説し、グループワークで各分野に分かれて問題点を探ります。その後、全体で共有して解決策を検討します。②各分野の指導法について改善点を提案し、音読では参加型で実践も行います。③発音指導に特化して、導入と矯正の指導法を説明し、チャンツや英文の表現を練習・発表し、相互評価を行って、まとめとします。 |      |              |             |            |              |                           |  |

| S10                                                                                 | Zoom | 少年非行の現状と指導のあり方 |              |              | 選択                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------|--------------|--------------|-----------------------|
| 日時：8月5日（木）                                                                          |      | 8：55～17：00 頃   |              | 受講料：6, 000 円 |                       |
| 定員                                                                                  | 時間数  | 対象職種           | 主な受講対象者      | 試験方法         | 担当講師                  |
| 240 名                                                                               | 6 時間 | 教諭、養護教諭        | 幼・小・中・高・特支・養 | 筆記試験         | 【午前】中山 誠<br>（心理学部教授）  |
| 最近の非行の特徴や原因、非行少年の特徴について理解するとともに、具体的な事例に対する指導について討議しながら、非行のある子どもに対する指導のあり方等について研究する。 |      |                |              |              | 【午後】神垣 一規<br>（心理学部講師） |

| S11                                                                                                                                                                                                                                                                                |  | Zoom    |  | 障害児を育てる保護者・きょうだい支援 |  | 選択           |  |      |  |                     |  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------|--|--------------------|--|--------------|--|------|--|---------------------|--|
| 日時                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  | 8月5日（木） |  | 8：55～16：30 頃       |  | 受講料：6, 000 円 |  |      |  |                     |  |
| 定員                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  | 時間数     |  | 対象職種               |  | 主な受講対象者      |  | 試験方法 |  | 担当講師                |  |
| 240 名                                                                                                                                                                                                                                                                              |  | 6 時間    |  | 教諭、養護教諭            |  | 幼・小・特支・養     |  | 筆記試験 |  | 松本 恵美子<br>（教育学部准教授） |  |
| 発達障害の幼児期の子ども達の発達特性について理解することで、その対応について考えていきます。そのプロセスで、日々、発達障害に接している保護者やそのきょうだいが彼らをどう理解し、支えていくかも大切なポイントとなります。そこで日ごろ子供たちに接していらっしゃる先生方に最後まで発達障害の子供たちに付き合えねばならない保護者と、どのように療育のためのパートナーシップを組めば、保護者を本当に支えることができるのか、また障害をもつきょうだいがいることで様々な思いや体験をすることになるきょうだいをどう支えるのかについて、一緒に考えて頂ければと考えています。 |  |         |  |                    |  |              |  |      |  |                     |  |

| S12                                                                                                                                                                                                                  | ハイブリッド | 特別支援教育における現状と課題 |              |             | 選択               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------|--------------|-------------|------------------|
| 日時：8月6日（金）                                                                                                                                                                                                           |        | 8：55～16：30 頃    |              | 受講料：6,000 円 |                  |
| 定員                                                                                                                                                                                                                   | 時間数    | 対象職種            | 主な受講対象者      | 試験方法        | 担当講師             |
| 一                                                                                                                                                                                                                    | 6 時間   | 教諭、養護教諭         | 幼・小・中・高・特支・養 | 筆記試験        | 梶 正義<br>（教育学部教授） |
| 特別支援教育は、障害者の権利に関する条約署名や障害者差別解消法成立を受けて、障害のある幼児児童生徒一人一人に応じた「合理的配慮」のもと、よりいっそう充実させていくことが求められている。本講習では、「合理的配慮」についてまず確認し、その後、学校現場での学習上の問題や行動上の問題、就学・進学の問題などへの対応について考える。また、幼児児童生徒の教育の骨子となる個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成と適用についても講義する。 |        |                 |              |             |                  |

| S13                                                                                                                                                        | 尼崎対面 | 遊びを生かした体育指導  |         |              | 選択                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|---------|--------------|--------------------|
| 日時：8月6日（金）                                                                                                                                                 |      | 8：55～16：30 頃 |         | 受講料：6, 000 円 |                    |
| 定員                                                                                                                                                         | 時間数  | 対象職種         | 主な受講対象者 | 試験方法         | 担当講師               |
| 70 名                                                                                                                                                       | 6 時間 | 教諭           | 幼・小     | 筆記試験         | 大平 誠也<br>（教育学部准教授） |
| 小学校における体育授業の現状を踏まえ、課題のひとつである低学年の体育指導を取り上げ、幼保における「遊び」をどのように反映させるべきかについて、具体的な教材の開発を通して考えます。講義を踏まえた演習における教材の開発や授業構想でのディスカッションを通して、体育科教育に関する理論的・実践的力量の形成を図ります。 |      |              |         |              |                    |

|                                                                                                                                                                                                  |      |              |         |             |                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|---------|-------------|-------------------|
| S14                                                                                                                                                                                              | Zoom | 明日から使える国語実践  |         |             | 選択                |
| 日時：8月6日（金）                                                                                                                                                                                       |      | 8：55～16：30 頃 |         | 受講料：6,000 円 |                   |
| 定員                                                                                                                                                                                               | 時間数  | 対象職種         | 主な受講対象者 | 試験方法        | 担当講師              |
| 240 名                                                                                                                                                                                            | 6 時間 | 教諭           | 小・中（国）  | 筆記試験        | 中西 一彦<br>（教育学部教授） |
| 国語科における「不易流行」とは何か。子どもたちが主体的に学ぶために必要な知識・技能とは。思考力・判断力・表現力を身につけるには。一人ひとりの適性に合った学びを実践するためには。これらの課題に対し、参加者相互が体験を通じて意見交流し、「明日から使える」という実感を得られるように具体的な材料を提供します。たとえ、遠隔であっても周りにみんながいるような、そんな講座になればと思っています。 |      |              |         |             |                   |

|                                                                                                                                                                                                              |      |                                    |              |             |                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------|--------------|-------------|-------------------------------------------------|
| S15                                                                                                                                                                                                          | Zoom | 教育の情報化と学校現場でのICT活用と情報モラル教育の重要性について |              |             | 選択                                              |
| 日時：8月6日（金）                                                                                                                                                                                                   |      | 8：55～17：00 頃                       |              | 受講料：6,000 円 |                                                 |
| 定員                                                                                                                                                                                                           | 時間数  | 対象職種                               | 主な受講対象者      | 試験方法        | 担当講師                                            |
| 240 名                                                                                                                                                                                                        | 6 時間 | 教諭・養護教諭                            | 幼・小・中・高・特支・養 | 筆記試験        | 山下 泰生<br>（経営学部教授・副学長）<br><br>中嶋 康二<br>（社会学部准教授） |
| 本講習では、まず、近年の情報通信技術動向の変化、および、わが国における「教育の情報化」に対する方向性や課題について概説していきます。その後、学校現場でのICT活用に関する現状や事例を参考にしながら、ご自身の担当授業を想定した活用方法について案を考えてグループで討議して頂きます。また、デジタル・ネイティブ世代と呼ばれる現在の子供（＋保護者）たちに対する情報モラル教育の重要性の指導についても検討していきます。 |      |                                    |              |             |                                                 |

| S16                                                                                                                                       |      | ハイブリッド  |              | いじめの実態と対処要領  |      | 選択                |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|--------------|--------------|------|-------------------|--|
| 日時                                                                                                                                        |      | 8月7日（土） |              | 8：55～16：30 頃 |      | 受講料：6, 000 円      |  |
| 定員                                                                                                                                        | 時間数  | 対象職種    | 主な受講対象者      |              | 試験方法 | 担当講師              |  |
| 一                                                                                                                                         | 6 時間 | 教諭・養護教諭 | 幼・小・中・高・特支・養 |              | 筆記試験 | 山本 昌宏<br>（心理学部教授） |  |
| いじめ防止対策推進法ができ、基本方針が示されてからも不幸ないじめ自殺事案が後を絶ちません。多忙な日常業務の中にあっても、子ども達の SOS に耳を傾け問題兆候に鋭敏に対処する必要があります。本講義では、いじめ事案に対してどのように対処すべきかを皆さんと一緒に考えていきます。 |      |         |              |              |      |                   |  |

|                                                                                                                                                                                |      |              |         |  |             |                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|---------|--|-------------|--------------------|
| S17                                                                                                                                                                            | Zoom | 総合的な学習の時間指導法 |         |  |             | 選択                 |
| 日時：8月7日（土）                                                                                                                                                                     |      | 8：55～16：30 頃 |         |  | 受講料：6,000 円 |                    |
| 定員                                                                                                                                                                             | 時間数  | 対象職種         | 主な受講対象者 |  | 試験方法        | 担当講師               |
| 240 名                                                                                                                                                                          | 6 時間 | 教諭           | 小・中     |  | 筆記試験        | 松尾 和宣<br>（教育学部准教授） |
| 総合的な学習の時間は、学校が地域や学校、児童生徒の実態等に応じて、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習と同時に探求的な学習や協働的な学習とすることが重要とされてきました。今回の講習では、これまでの総合的な学習の時間の成果や課題をあきらかにしながら、学習活動例を紹介したいと思います。グループワークを取り入れながら、教材作成や議論の場を提供します。 |      |              |         |  |             |                    |

## <学食の利用について（尼崎キャンパス）>

講習日当日に大学の学食を利用することが可能ですが混雑が予想されます。

大学ではお弁当（500 円）の販売を行っており、当日の朝に受付を行い、お昼休み時にお渡しいたします。

また、持参された昼食を教室等で取ることが可能です。

## <大学周辺の飲食エリアのご案内>



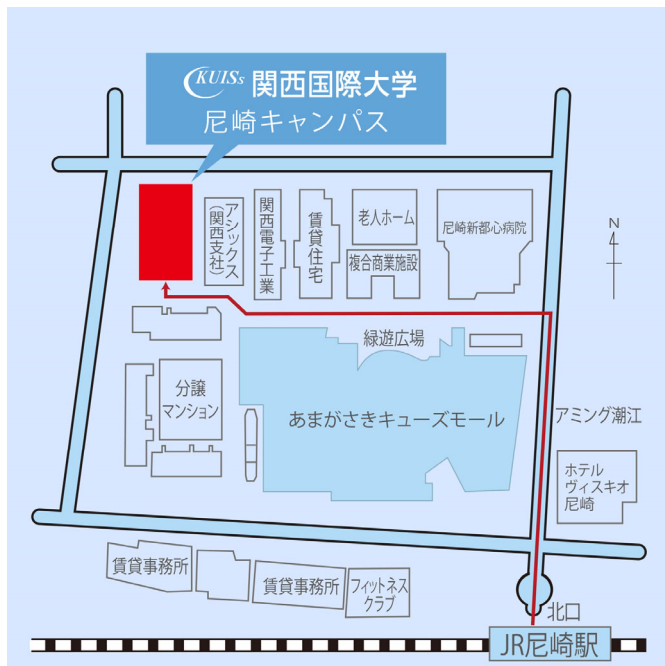
## ■講習のタイムスケジュールと各キャンパス会場周辺マップ

【注意 1】小休憩やお昼休み、終了時間など、各講習によって多少前後する場合があります。

【注意 2】認定試験は、講習によって複数回の試験を実施するなど、次の時間割とは異なる場合があります。

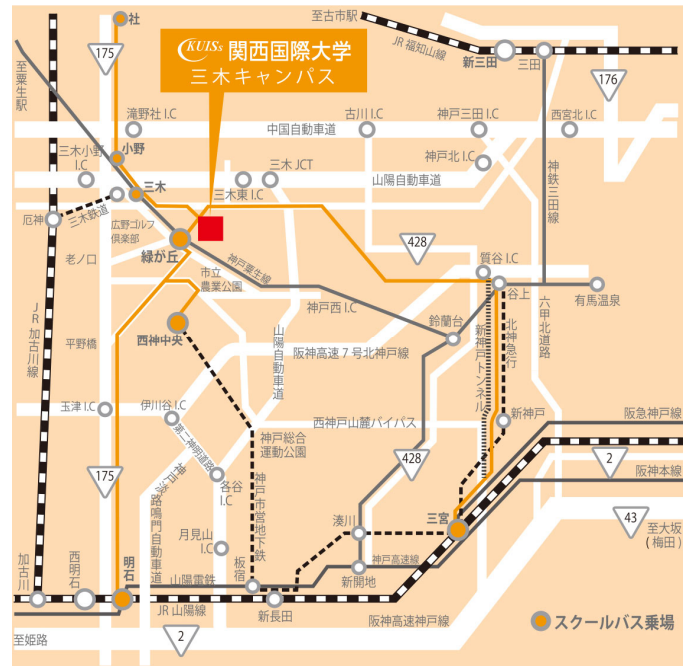
|           | 終日講師が同じ講習                                                                                               | 午前と午後で講師が違う講習                                                                                           |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受付開始      | (会場) エントランス 8:10~8:55 入室・着席完了<br>(Zoom) 8:50 までにログイン                                                    |                                                                                                         |
| オリエンテーション | 8:55~9:00(5分)                                                                                           |                                                                                                         |
| 午前講習      | (講師案内後)<br><br><b>◆9:00~12:00</b><br><br>(小休憩 20 分程度含む)                                                 | (講師案内後)<br><br><b>◆9:00~11:45</b><br><br>(小休憩 20 分程度含む)                                                 |
|           |                                                                                                         | (試験配布・説明) 11:45~11:55(10分)<br><b>◆11:55~12:25(30分) 認定試験</b><br>(試験回収) 12:25~12:30(5分)                   |
| お昼休み      | 12:00~13:00(60分)                                                                                        | 12:30~13:30(60分)                                                                                        |
| 午後講習      | <b>◆13:00~15:40</b><br><br>(小休憩 20 分程度含む)                                                               | (講師案内後)<br><b>◆13:30~16:15</b><br><br>(小休憩 20 分程度含む)                                                    |
|           | (試験配布・説明) 15:40~15:50(10分)<br><b>◆15:50~16:25(35分)</b><br><b>認定試験・事後アンケート</b><br>(試験回収) 16:25~16:30(5分) | (試験配布・説明) 16:15~16:25(10分)<br><b>◆16:25~17:00(35分)</b><br><b>認定試験・事後アンケート</b><br>(試験回収) 17:00~17:05(5分) |

尼崎キャンパス



〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江 1-3-23

三木キャンパス



〒673-0521 三木市志染町青山 1 丁目 18 番

関西国際大学 教員免許状更新講習係（社会連携課）

〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江 1-3-23

TEL : 06-6496-4103 (直通) / FAX : 06-6496-4321

(電話お問い合わせ受付時間：平日 9:30~17:00)

E-mail : menkyo@kuins.ac.jp (終日送信可)